



① 前二子古墳石室

城南地区の文化財めぐり



前橋市教育委員会

文化財保護シンボルマーク

城南そのむかし

赤城山南麓のなだらかな裾野に広がる城南地区には太古より幾重にも人々の歴史が刻まれてきました。

旧石器時代からの集落や古墳など人々のくらしの営みの跡が数多く遺されてきました。特に古墳の数は400基に近く、県内屈指の密集地域でその隆盛がしのばれます。「日本書紀」に登場する上毛野国の基を開いたとされる崇神天皇の皇子豊城入彦命の子孫といわれる「上毛野君」一族にまつわる伝承も伝えられています。

なかでも大室古墳群中の国史跡前・中・後二子古墳を含む四つの前方後円墳は規模の大きさ、すぐれた副葬品、構造の変化など赤城南面に君臨した6世紀の有力豪族一族の力を今に語りかけてくれます。

山麓の人々にさまざまな恵みを与え、畏敬の心で仰ぎみられた赤城山は、赤城神として延喜式内社に組み入れられました。特に豊かな生産をもたらしてくれる水源の神として、周辺のむらに多くの赤城神社がまつられています。なかでも二宮赤城神社は、古文書・境内の石造物・伝承・芸能などが遺されており、古代から人々の信仰を集めていたとみられます。

平安時代末期に開削されたという長大な用水路跡女堀は、多くの謎を秘めてとぎれとぎれに残っています。これも乾いた台地に水を求める人々の願いを今に伝える貴重な文化財です。

問い合わせ先 文化財保護課

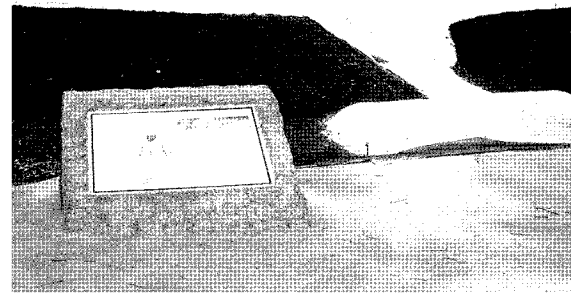
前橋市三俣町2-10-2

TEL 027-231-9875

FAX 027-231-9862



③ 後二子古墳



⑧ 旧関根家住宅

城南地区の文化財を訪ねて

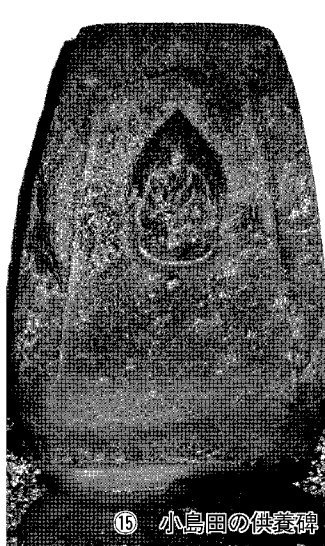
古代群馬の豪族「上毛野君」のふるさとの伝承をもつ城南地区には、古墳をはじめとして、次のような文化財があります。

- ① 前二子古墳 (国史跡) 西大室町2659-1
全長約94mの前方後円墳。東側後円部に細長い横穴式石室があります。明治11年に発掘され四神付飾土器(小像付円筒器台・国重美)などを含むすぐれた副葬品が多く発見されています。横穴式石室が導入されたころの6世紀初頭に造られたものです。
- ② 中二子古墳 (国史跡) 東大室町1501
全長111mの前方後円墳。6世紀前半に造られたと推定される二段築造の大型の古墳です。内部は未調査で、詳しくはわかりませんが、横穴式石室だろうと考えられています。二重の周堀や追輪列に雄大さがしのばれます。
- ③ 後二子古墳並に小古墳 (国史跡) 西大室町内堀2617-1東大室町全長85m二段築造の大型の前方後円墳。石室は巨石巨室の横穴式石室で、自然石を乱石積みしています。明治11年前二子古墳とともに発掘され、刀などが出土しました。隣接する全長38mの小古墳と共に6世紀後半のものです。
- ④ セツ石祭祀遺跡 西大室町セツ石
巨石の崇拜により、赤城神の信仰の場所となっていた所です。西にセツ石古墳群があり箱式石椁状の石室が見つっています。
- ⑤ 伊勢山古墳 西大室町623他
伊勢山古墳は全長90mの最終末の前方後円墳。6世紀末に造られたと推定され長さ4.8mの横穴式石室があります。周辺にはかつて十数基の円墳も集まっていた。
- ⑥ 荒砥富士山古墳 (県史跡) 西大室町885-1他
7世紀末に造られた円墳で、墳丘の直径は36mあります。切石積みの石室の保存状態が極めて良く、玄門部と羨門部の両方に扉石があることが確認された県内初の古墳です。
- ⑦ 今井神社古墳 (市史跡) 今井町818
全長71m、5世紀後半の前方後円墳。石棺を持った竪穴式石室と見られます。

- ⑧ 旧関根家住宅 (市重文) 西大室町2510
大室公園内に移築復原された赤城南麓にみられる典型的な養蚕農家で、赤城型民家と呼ばれる建物です。
- ⑨ 大室城跡 西大室町1711-1
大室神社を本丸とし、南、東、西を川で囲まれた南北に細長い城跡です。中世、白井長尾氏の家臣牧弾正、江戸時代酒井氏家臣石川氏の居城でした。また、ここには、ギンナンがイチヨウの葉の縁辺につくオハツキイチョウ(市天記)があります。
- ⑩ 産泰神社本殿幣殿拝殿神門及び境内地 (県重文) 下大屋町569
産泰神社は、近世以降安産の守護神として広く信仰を集めています。社殿は江戸後期の建立で、彫刻や天井絵は時代の特徴をよく表しています。当社は、八咫鏡(市重文)と呼ばれる銅鏡を所有(県立博物館に寄託)しています。社殿の裏の巨石群は古くから信仰の対象となっていたようです。
- ⑪ 産泰神社太々神楽 (市無文) 産泰神社 下大屋町569
4月17日の宵宮、18日の本祭に奉納される神楽です。出雲神社の系統を引き、舞の所作には、比較的能に近いものがあります。現在15座を舞っていますが、格式があり古くは神職によって奉納されていました。由来は不明ですが、奉納額に明和元年(1764)のものがあり、これ以前から奉納されたことがわかります。
- ⑫ 観音寺の宝塔 (市重文) 西大室町1673
赤城塔と呼ばれる宝塔で、安山岩で造られています。現在の相輪は別物ですが、壺形の塔身から南北朝時代のものと考えられます。
- ⑬ 富田の宝塔 (市重文) 富田町33 六本木氏宅地内
室町時代初期の特徴をよく示す総高209.5cmの塔で、完成品でありバランスがとれて整った形をしています。
- ⑭ 善蔵寺供養塔 (市重文) 最善寺 東大室町甲6
戦国時代、康正元年(1455)に造られた石碑です。輝石安山岩を台形に削った中に将棋駒形の彫り込みがあります。高さ134cmです。
- ⑮ 小島田の供養碑 (市重文) 小島田町大門跡530
阿弥陀如来坐像が浮き彫りにされたこの碑には、仁治元年(1240)



⑩ 産泰神社



⑮ 小島田の供養碑



⑳ 無量寿寺十一面観音坐像



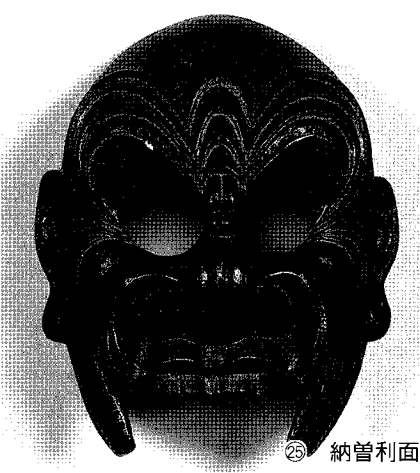
㉑ 慈照院千手観音坐像



⑰ 泉沢の獅子舞



㉙ 二之宮の式三番叟



㉚ 納曾利面

- 橋清重が、亡くなった子どもの霊をとむらうために建てたことが記されています。
- ⑯ 小島田の阿弥陀如来坐像 (市重文) 小島田町504
この像は、地元では薬師と呼ばれていますが、像容と手印から阿弥陀如来と考えられます。光背背面に延徳5年(1493)と彫られてあり、当時の民衆信仰を示す石仏です。
- ⑰ 泉沢の獅子舞 (市無文) 泉沢神社 泉沢町44
2人立ちの獅子舞で悪魔を追い出す目的をもったものです。4月1日早朝から泉沢の全戸を地区の下の家から上の家に向かつてまわります。
- ⑱ 稲荷藤節 (盆踊唄) (市無文) 泉沢町672
八木節より古い盆踊唄に属するもので、上増田町の久川藤太郎氏によってあみだされたものです。笛1つ、太鼓1つの楽器でゆつくりとした曲調で手踊りだけで踊るという点に古い形を残しています。
- ⑲ 無量寿寺地蔵菩薩立像 (市重文) 無量寿寺 二之宮町甲764
鎌倉時代頃と推定されている寄木造りの立像です。高さ184.5cmで堂々としていて雄大・重量感があり、衣文の線が美しい仏像です。
- ⑳ 無量寿寺十一面観音立像 (市重文) 無量寿寺 二之宮町甲764
ひさしまった丸顔のこの観音像は、桂の一木造りで、高さ71.5cm金ばくが使われ衣文が描かれています。平安末期の作品で、江戸の護国寺から隆光僧正が隠居する際、移されたものといわれています。
- ㉑ 慈照院千手観音坐像 (市重文) 慈照院 二之宮町1811
この像は桂の木で造られ、頭部に十一面があります。鎌倉時代の制作と推定され、高さ93cmの坐像で二宮赤城神社本地仏として、秘仏になっています。
- ㉒ 女堀 (国史跡) 富田町、二之宮町、荒子町、飯土井町、東大室町
赤城山麓、標高95m前後のところを西から東へ約13kmにわたって掘られた用水路跡です。幅15~30m、深さ3~4mの巨大なものです。12世紀前半頃、淵名荘への用水路として造られたとみられますが、通水されことなく、未完に終わっています。
- ㉓ 江木の宝塔 (市重文) 江木町224-1
安山岩製の宝塔で、室町時代前半の応永年間(1394~1428年)頃

- のものとして推定されます。ほぼ完成をとどめています。
- ㉔ 二宮赤城神社社地 (市史跡) 二宮赤城神社 二之宮町886
南北220m、東西160mの社域で、周囲に濠と土塁がめぐっています。社殿東には鎌倉時代といわれる塔跡があります。神社原形は古代にさかのぼり、中世の社地の形態をよく伝えています。
- ㉕ 納曾利面 (県重文) 二宮赤城神社 二之宮町886
竜の面といわれる舞楽面です。外に出すと雨が降るといわれています。裏の朱書から享徳2年(1453)に造られたことがわかります。
- ㉖ 二宮赤城神社絵馬 (市重文) 二宮赤城神社 二之宮町886
拝殿の左右にかけられた4枚の絵馬のうち馬だけのものは、牧野駿河忠成が元和元年(1615)大阪夏の陣に際し奉納したものです。また人物と馬のものは、前橋藩主酒井雅楽頭が奉納したと伝えています。
- ㉗ 二宮赤城神社の宝塔 (市重文) 二宮赤城神社 二之宮町886
赤城塔と呼ばれる宝塔で、南北朝時代に造られたと推定されます。全体に漆が塗られた跡が残ります。
- ㉘ 二宮赤城神社梵鐘 (市重文) 二宮赤城神社 二之宮町886
鳥居近くのこの鐘は、毎年2回(4月と12月)二之宮と三夜沢の赤城神社との間をご神体が往復する「御神幸」(市重文)の時につかれます。銘文には元和9年(1623)とあります。
- ㉙ 二之宮の式三番叟附伝書(市有民文) 二宮赤城神社二之宮町886
この式三番叟は、4月15日に、境内にある文化9年(1812)と推定される舞台上で演じられます。明治26年に書き残された「伝書」が、伝承に大きな力となっています。
- ㉚ 井出上神社のシイ (市天記) 飯土井町甲1
目通り周3.6m、樹齢200~300年と推定される巨樹です。シイは県内では自生しないため、比較的本数の少ない樹木です。

(重文……重要文化財 重美……重要美術品)
 (無文…重要無形文化財 有民文…重要有形民俗文化財)
 (天記……天然記念物 無民文…重要無形民俗文化財)

城南地区の文化財を訪ねて



⑰泉沢の獅子舞 (4月1日)
 ⑱稲荷藤節 (盆踊唄)
 野郎万才、弥次喜多道中記

⑬富田の宝塔

④七ツ石遺跡

●富田の祇園囃子
 (3月31日、4月1日)

⑩産泰神社 卍
 ⑪太々神楽 (4月17日、18日)

⑧旧関根家住宅

③後二子古墳 並小古墳

⑬江木の宝塔

⑨大室城跡
 オハツキイチョウ

②中二子古墳

②女堀遺構

⑫観昌寺の宝塔 卍

①前二子古墳

⑥荒砥富士山古墳

卍(最善寺)
 ⑭普蔵寺供養塔
 和讃 (二子山由来和讃)

荒子の砦

⑯小島田の阿弥陀如来坐像

⑮小島田の供養碑

②女

堀

遺

構

文化財めぐりコース

北コース (7.2km)

最善寺 0.8km 前・中・後二子古墳 1.0km 大室城跡
 富田の宝塔 4.0km 産泰神社 1.4km

南コース (4.7km)

小島田の供養碑 1.8km 今井神社古墳 1.7km
 無量寿寺 0.8km 慈照院 0.4km 二宮赤城神社

⑦今井神社古墳

卍(二宮赤城神社)

卍(無量寿寺)

⑲地藏菩薩立像

⑳十一面観音立像 卍(井出上神社)

⑳井出上神社のシ

卍(慈照院)

㉑千手観音坐像

㉒式三番叟 (4月15日) ㉓納曽利面

神楽 (1月1日、4月15日) ㉔絵馬 ㉕宝塔 ㉖梵鐘

雅楽 (1月1日、2月11日、4月15日、11月23日)

御神幸 (4月、12月初辰の日)

記号	
◻	前方後円墳
○	円墳
卍	寺院
卍	神社
⌒	城・砦跡
⌒	石造物(碑墓等)
●	その他
卍	文化財めぐりコース 総合案内板
▼	文化財めぐりコース 道しるべ

1:20,000

